

あいあい新聞 10~11月号



あい訪問看護ステーション

広島市安佐北区落合5-30-27-103

電話:082-824-7470 FAX:082-824-7471

HP:

すっかり秋めいてきたなあ…と感慨にふけっていると、気付けば今年も残すところあと2ヶ月余り。なんと一年が経つのは早いものです。長期予報では今年も厳冬になるとのこと。これからの季節、特に注意したいのがインフルエンザなどの感染症です。見る側も看られる側も、お互い十分に注意して感染症予防に心がけていきましょう。

特集 ~ 胃瘻栄養剤の固形化 寒天による固形化の利点について

今回は、胃瘻栄養剤の寒天による固形化について特集します。多くの利点がある固形化栄養について、ぜひ検討してみてください。

液体栄養剤の問題点

胃瘻栄養を行っている方には、誤嚥による呼吸器感染症をおこしやすい、下痢が続いている、胃瘻孔部の皮膚がただれている、といった症状をよく見かけないでしょうか。それらは液体による胃瘻栄養剤についての問題点とされるもの。以下に液体栄養剤の問題点を挙げてみます。

1. 食道への逆流による誤嚥、肺炎のリスク

咳き込みや腹部圧迫などで食道方向へ逆流し、誤嚥を生じることがあります。また、体位を整えていても液体である栄養剤は少しずつ食道のひだを伝って重力に逆らい上昇する性質(毛細管現象)があるとされています。

2. 胃瘻孔からの液体漏れ、皮膚症状

胃瘻を通してのお腹の穴から少しずつ液体が漏れ出す(リーク)ことがあり、皮膚のただれなどの原因となります。

3. 下痢などの消化器症状

投与速度が速いと下痢の原因になることがあります。

4. 長時間の臥床による苦痛

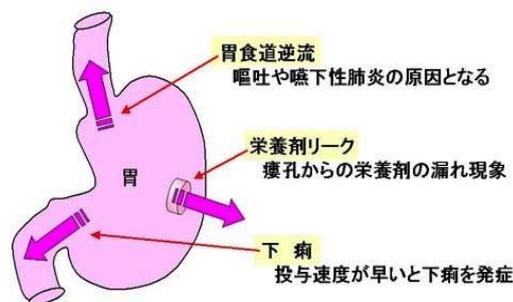
1回の投与にて1時間から2時間の同一体位を取らなければならないことで、身体的苦痛が強いと考えられます。また同一体位による褥瘡発生のリスクも高くなります。

5. 生理的消化活動の低下

液体を少量ずつ投与することにより、胃から大腸にかけての生理的蠕動運動が生じにくくなり、消化器官全体の機能低下を招く可能性があります。



【液体栄養剤を使用した経管栄養管理における問題点】



【固形化栄養と半固形化栄養との違い】

「固形化」とは、「重力に抗してその形態が保たれる硬さとしたもの」と定義します。



↑ 固形化

↑ 半固形化

固形化栄養剤の効果

栄養剤を固形化することにより、栄養剤の流動性を低下させるため、誤嚥性肺炎の予防・下痢の予防・栄養剤リークの予防など、液体栄養の各問題点を克服することが可能となります。

なぜ寒天なのか？

条件	初寒天	ゼラチン	全卵
安価	○	○	×
入手が容易	○	○	○
調理が容易	○	○	○
硬度調節が容易	○	○	×
低カロリー	○	○	×
粘度を増さない	○	×	△
体温で溶解しない	○	×	○

もっとも重要なことは、寒天は安全食品であること。その他には左図のような利点がありますが、ゼラチンとの大きな違いとして体温で溶解しないことがあります。胃内に入り生理的な活動(消化管の蠕動運動)を促すことが期待できます。

寒天栄養の課題

寒天栄養の課題としては以下のようなことが挙げられます。

○ 便秘傾向への回帰

液体栄養で排便状態が改善されていた場合、逆に便秘傾向への回帰を促すことがある。

○ 寒天調理、物品用意などの手間

寒天を使用して固形化栄養を造る場合は、加熱や注射器への準備など、液体栄養にはない作業が加わります。

これらのことがクリアーできる状況であれば、寒天による固形化栄養を検討実施してよいと思われます。



参考文献は下記の通りです。寒天による固形化栄養による症例や、寒天の具体的な調理法・投与方法などが書かれていますので、もっと詳しく調べてみたいと思われる方はぜひ読んでみてください。

経腸栄養剤固形化によるGER予防の効果

<http://www.fukiage-clinic.com/peg/ronbun/re040574.htm>

胃瘻栄養で半固形化栄養剤を使いこなす！

<http://www.peg.or.jp/paper/article/semi-solid/mini-lecture.html>



We love ひろしま 知ってる！？知っとこ☆



■ 右の写真は、広島市のある場所にあるオブジェです。さて、どこにあるものでしょう？

1. 平和大通り 2. 宇品港 3. 平和大橋

答えは裏面に



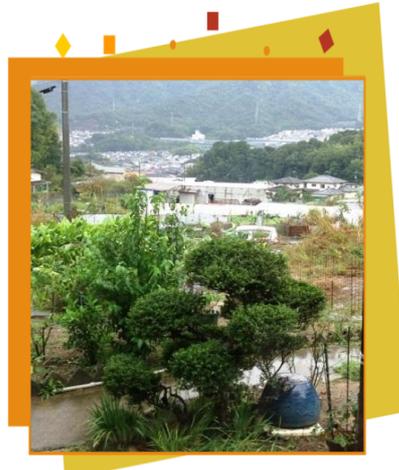
今月の利用者さん

今回の利用者さんは…

Mさん 女性 91才 / 右大転子部亀裂骨折後・高血圧・脳梗塞など
訪問看護：毎日(月～日曜日) 1時間/回 です。

訪問目的は、水分補給のための毎日の点滴、状態観察、清潔ケア、リハビリ等です。今年の6月に転倒されて足を骨折、入院されましたが、それまではお独りで暮らされており「元気なおばあちゃん」だったそうです。入院中リハビリを開始されましたが起立性低血圧があり、リハビリは中止。同時に嚥下困難がみられ食事量低下、脱水にて点滴が必要な状態でした。それまで別居されていたご家族に強い在宅介護への意思があり、自宅を改装し9月に退院。息子さん夫婦もMさん宅へ住まいを移され、在宅生活が始まりました。

→「自宅前に広がる畑。ここで取れた野菜が食卓に上ることも…」



退院後は、週に1回の往診と訪問介護、訪問入浴、訪問歯科などを利用され、またご家族も献身的に介護をされている状況。栄養士による栄養指導や嚥下訓練なども受けられています。家の前には広い畑もあり、そこで作られている新鮮な野菜も食卓に上ります。今はまだ少しずつしか口から食べることはできませんが、毎日の点滴がなくなるよう元気になって欲しいなあ、と思います。体調に合わせたリハビリを行い、車椅子に乗れるようになったら一緒に畑を見に散歩に出かけたいですね(*。*) (スミス)。

←食事量も少しずつ増えてきました。点滴が減ると良いですね(^_^)。

トピック

10月28日(月)、広島ホームテレビで午後の7時54分から「ひろしま発ケンTV」という番組が放送されました。この番組、広島県の広報番組なのですが、今回のテーマは「地域医療」。住み慣れた自宅で療養生活を送られる高齢者とそのご家族、地域医療に取り組む医師を取り上げ、これから増えるであろう自宅での療養生活の仕組みを紹介したものです。医師、看護師、介護士、ケアマネジャー



や地域のボランティアなど、今は自宅での療養を支援する仕組みがあることを少しでも多くの人に知ってもらいたいですね。この番組で紹介された先生は東区にある金谷医院の金谷先生なのですが、番組の中にチャリと出てくるのが当ステーションの看護師。実はこの療養者さんへ訪問看護に入らせてもらっているんです。この番組、広島県のホームページから過去放送分も見れるので、ぜひ見てみて下さい！

答え… 3. 平和大橋 でした！！

この橋は、アメリカの建築家イサム・ノグチ氏が設計し、昭和27年3月に完成したものです。広島の復興を願い「建設」を意味する名前として「つくる」と命名し、「平和大橋」という名前は昭和26年に一般公募で決定されたものだそうです。



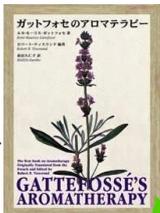
建設当初の平和大橋→



←現在の平和大橋

アロマセラピー～その1

最近よく耳にする「アロマ」という言葉。皆さんはどんなイメージをお持ちでしょうか？柔軟剤などに含まれている場合、「アロマ」＝「癒し」というコンセプトで使われているような気がします。アロマセラピーという言葉は、1910年、ある事故をきっかけに作られました。フランス人科学者モーリス・ガットフォッセが家業の香料店のため実験を行っていました。その時に爆発事故が起こり、ガットフォッセはとっさに手元にあったラベンダーの精油をつけました。その傷は短期間で回復したそうです。これを機にアロマセラピーという本を出版しそれがアロマセラピーという言葉の始まりなのです。(田中)



編集後記…

2ヶ月に1回の発行となると、内容も少し考えてしまいますねえ…その割にはあまり変化はありませんが(^_^)。少しずつ新しいシリーズも取り入れて、飽きない紙面づくりを心がけたいと思っています！！宜しくお願いします。次回は新年1月5日頃の発行予定です(*^_^*)。(仲重)

今日も明日もあさっても **Carp** は続くよ、どこまでも

熱い熱い今年のシーズンも終わりを告げました。16年ぶりのAクラス、初のクライマックスシリーズ進出を果たした我がカープ。巨人の壁は厚く、日本シリーズ進出の夢は果たせませんでした。ま、存分にファンは楽しめたのではないかと思います。しかし、肝心なのはここから。若い「丸」や「菊池」を筆頭に、地力をつけたつあるカープ。投手王国再建も現実のものとなってきました。

来年は是非ともシーズンでの25年ぶりの優勝を果たし、強い強いカープを見せつけて欲しいと思います！！それから、前田智則選手、長い間お疲れさまでした。私、引退試合に行ってきました(。^_^)涙…涙…。またいつか、きっと赤いユニを…。 (終り)

